

事務事業	02	元気館事業の充実					
章	1	健康でおもいやりのあるまち					
大項目	01	心と体の健康づくり					
施策	01	生涯を通じた心と体の健康づくり					
<b>事業内容</b>							
目的	区民の運動習慣のきっかけづくりと地域健康づくり活動の活性化を図ります。						
対象・手段	誰でも気軽に利用できる軽運動プログラム等の健康づくり事業及び健康づくり活動を行う自主グループ・その他の団体に対する施設の貸出事業を、指定管理者が運営します。						
<b>成果(事業が意図する成果)</b>							
運動の実践による健康づくりを促進し、高齢者の運動機能を向上させます。 地域自主グループの活動支援を通じた健康づくり活動を活性化させます。							
<b>事業成果指標</b>							
指標名		定義			目標水準		
健康増進プログラムの利用率		健康増進プログラムの利用率(利用者延べ人数/延べ定員数)			(平成19年度) 年度の (60%) の水準達成		
					( ) 年度の ( ) の水準達成		
					( ) 年度の ( ) の水準達成		
<b>成果の達成状況</b>							
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
事業成果指標	目標値1	%	60.00	60.00	60.00	60.00	
	実績1	%	32.70	47.90	53.90	57.40	
	= /	%	54.50	79.83	89.83	95.67	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業の実施内容</b>							
平成17年度	コース型;利用者延べ人数 24,756人 利用率(利用者延べ人数/延べ定員数×100)63.7%(4月から3月の平均) フリー型;利用者延べ人数 19,382人 利用率(利用者延べ人数/延べ定員数×100)44.0%(4月から3月の平均) プログラム平均利用率 53.9%						
平成18年度	コース型;利用者延べ人数 29,211人 利用率(利用者延べ人数/延べ定員数×100)66.5%(4月から3月の平均) フリー型;利用者延べ人数 15,160人 利用率(利用者延べ人数/延べ定員数×100)48.2%(4月から3月の平均) プログラム平均利用率 57.4%						

部名称		健康部			課名称		健康いきがい課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	30,456	43,737	39,254	22,329	18年度から指定管理者制度を導入し、利用料金は利用者が直接指定管理者に支払い、区はその金額分、指定管理委託料を減額しています。	
	人件費	千円	8,338	8,338	8,338	8,280		
	事務費	千円	49,757	34,661	0	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	88,551	86,736	47,592	30,609		
	受益者負担	千円	13,842	21,384	14,482	0		
	純計 = -	千円	74,709	65,352	33,110	30,609		
	受益者負担率 /	%	15.63	24.65	30.43	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	72,206	62,424	30,893	30,609		
	特定財源		2,503	2,928	2,217	0		
	一般財源投入率 /	%	81.54	71.97	64.91	100.00		
職員	常勤職員	人	1.00	1.00	1.00	1.00		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
<b>事業に関する検討課題</b>								
<p>健康増進プログラムについては、各プログラムの利用率に偏りが減ったものの、実施プログラムの再編成等を継続して検討していく必要があります。高齢者の運動機能向上プログラムは、スクリーニング方法の充実に図り積極的に広報等で周知していくことが必要です。</p> <p>また、サービスの向上と、より効率的な運営を目指し、モニタリング、自己評価結果に対し、区と指定管理者が連携を強化していく必要があります。</p>								
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	平成18年度利用者数については、コース型延べ29,211人、フリー型延べ15,160人で、徐々に利用者も増えつつあり、ほぼ計画どおりに進んでいます。					
	効率性	2	3か月ごとに利用率の高いメニューを増やすなど、効率的な運営を行っています。委託料1万円あたりの利用者数は、平成17年度11.2人、平成18年度19.9人であり、効率化の成果を挙げています。					
	実施の成果	2	区民の運動実践のきっかけづくりとして機能しています。また、施設貸出事業は地域の健康づくり活動を支援しています。					
	行政の関与	3	健康増進法や地域保健法などにより、区民の健康づくり実践のための事業、地域における健康づくり活動等への支援を区が行うことは妥当です。					
	妥当性	2	指定管理者制度を導入し、より効率的な運営と区民ニーズに対応したサービスを向上しました。					
	施策寄与度	3	子どもから高齢者までの幅広い年齢層の区民に対する運動習慣の定着、運動機能の向上・改善につながっています。					
総合評価	子どもから高齢者まで気軽に参加できる様々なプログラムを用意しているため区民の運動実践のきっかけづくりに効果が期待できます。また、健康づくり自主グループを主な対象とした施設の貸出事業は、健康づくり活動の活性化に寄与しています。指定管理者制度の導入により、健康増進プログラムにおける各プログラム間の人気のばらつきや、高齢者筋力向上プログラムにおける対象者の選定方法、効果測定の仕方などを改善しました。						B	
							過年度評価	
改革方針							17年度 B 16年度 B 15年度 14年度	
	軽運動プログラムについては、3か月ごとに内容の見直しを行い人気のあるプログラムを導入する等、内容を充実させていきます。また、高齢者の運動機能の向上事業は、スクリーニング方法の充実に図り積極的に広報等で周知していき、対象者の選定方法や効果測定の手段などを工夫していきます。今後は、指定管理者と協議を行い、より効率的な運営を行うとともにメタボ講座等の開催などによるメタボリックシンドローム対策事業を展開するなど、事業内容の充実を図っていきます。						方向性	
						2	手段改善	